

**リスクアセスメント評価方法**  
(※ ISO 11999-1:2015 付属書 A より抜粋)

○ リスクアセスメントの公式

- ・ R = 「リスク」
- ・ L = 「消防士が危険有害性にさらされる可能性」
- ・ S = 「危険有害性にさらされた場合に消防士が受ける結果の重大性」


「 R = L × S 」

**表 A.1: 「L」と「S」の数値**

数値	可能性	結果の重大性	
0	ない	ゼロ	
1	例外的にある	低い	軽い負傷、わずかな切り傷、表面的火傷など
2	時々ある	中程度	重い負傷、骨折、重大な火傷など
3	可能性が高い	高い	生命に危険が及ぶ
4	常にある	極端	死亡

数値 0 は、危険有害性に遭遇する可能性が絶対的にゼロである場合のみ認められる。

**表 A.2: 危険有害性 L × S=R**

危険有害性の原因と種類	消防士が危険有害性にさらされる可能性	危険有害性にさらされた場合の消防士への結果の重大性	リスク (L×Sの合計)	防止策
<b>1.熱による危険有害性</b>				
a.対流熱				
b.放射熱				
c.伝導熱				
d.火炎				
e.溶融した金属／滴下				
f.残り火				
g.爆燃現象				
<b>2.電気による危険有害性</b>				
a.アーク電流				
b.静電気				
c.電流、高圧				
d.電流、低圧				
<b>3.環境的危険有害性</b>				
a.寒冷な周囲環境				
b.高温の周囲環境				
c.冷たい表面				

d.気流速度（機械的）				
e.気流速度（風）				
f.雨				
g.しぶき				
h.水中作業				
i.水中への転落				
4.機械的危険有害性				
a.浸透				
b.切断				
c.摩擦				
d.物体の落下				
e.衝撃				
f.転倒／滑落				
5.視界喪失の危険有害性				
a.姿が見えなくなる				
6.生物化学関連の危険有害性				
a.液体				
b.体液による汚染				
c.ガス				
d.煙霧				
e.放射線				
7.その他の危険有害性				
a.生理的／熱ストレス				